

前 期							後 期																		
月	日	月	火	水	木	金	土	備 考	月	日	月	火	水	木	金	土	備 考								
4 月			1	2	3	4	5	1日～7日 春季休業 1日 新入生オリエンテーション 2日 全学統一TOEIC-IP 3日 履修相談会 8日 入学式、新入生オリエンテーション 9日 授業開始 29日 昭和の日	10 月				1	2	3	4	13日 体育の日 注:16日 月曜日の授業を行う。 22日 開学記念日								
		6	7	8	9	10	11			12	5	6	7	8	9	10		11							
		13	14	15	16	17	18			19	12	13	14	15	16	17		18							
		20	21	22	23	24	25			26	19	20	21	22	23	24		25							
		27	28	29	30						26	27	28	29	30	31									
5 月					1	2	3	3日 憲法記念日 4日 みどりの日 5日 こどもの日 6日 振替休日 注:8日 月曜日の授業を行う。 注:9日 火曜日の授業を行う。	11 月							1	1日～3 大学祭 3日 文化の日 注:6日 月曜日の授業を行う。 23日 勤労感謝の日 24日 振替休日								
		4	5	6	7	8	9			10	2	3	4	5	6	7		8							
		11	12	13	14	15	16			17	9	10	11	12	13	14		15							
		18	19	20	21	22	23			24	16	17	18	19	20	21		22							
		25	26	27	28	29	30			31	23	24	25	26	27	28		29							
6 月								21日 海の日 30日 補講日	12 月								23日 天皇誕生日 25日～1月7日 冬季休業 注:25日 冬季休業であるが授業を行う。								
		1	2	3	4	5	6			7	1	2	3	4	5	6									
		8	9	10	11	12	13			14	7	8	9	10	11	12		13							
		15	16	17	18	19	20			21	14	15	16	17	18	19		20							
		22	23	24	25	26	27			28	21	22	23	24	25	26		27							
7 月			1	2	3	4	5	1日～9月30日 夏季休業 注:1日 夏季休業であるが授業を行う。 注:4日 夏季休業であるが授業を行う。 注:5日 夏季休業であるが授業を行う。 6日、7日 補講日 8日～9日 オープンキャンパス (学部によっては前後を含むことがある。) 13日～15日 夏季一斉休業	1 月					1	2	3	1日 元日 注:5日 冬季休業であるが授業を行う。 注:6日 冬季休業であるが授業を行う。 12日 成人の日 16日 センター試験実施に伴う 臨時休講 17日・18日 大学入試センター試験								
		6	7	8	9	10	11			12	4	5	6	7	8	9		10							
		13	14	15	16	17	18			19	11	12	13	14	15	16		17							
		20	21	22	23	24	25			26	18	19	20	21	22	23		24							
		27	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30		31							
8 月						1	2	15日 敬老の日 23日 秋分の日	2 月		1	2	3	4	5	6	7	11日 建国記念の日 4日、10日、12日 補講日 13日～3月31日 臨時休講 25日・26日 一般入試(前期日程)							
		3	4	5	6	7	8			9	8	9	10	11	12	13	14								
		10	11	12	13	14	15			16	15	16	17	18	19	20	21								
		17	18	19	20	21	22			23	22	23	24	25	26	27	28								
		24	25	26	27	28	29			30															
9 月			1	2	3	4	5		3 月		1	2	3	4	5	6	7	12日 一般入試(後期日程) 21日 春分の日 25日 卒業式							
		6	7	8	9	10	11	12		8	9	10	11	12	13	14									
		13	14	15	16	17	18	19		15	16	17	18	19	20	21									
		20	21	22	23	24	25	26		22	23	24	25	26	27	28									
		27	28	29	30					29	30	31													
前期計	16	16	16	16	16	授業週数(含試験)							後期計	16	16	16	16	16	授業週数(含試験)						

↑ 5月9日を含む
↑ 5月8日を含む

↑ 10月16日及び11月6日を含む

■ 休業日及び臨時休講を示す。

□ 他の曜日の授業を行う日又は休業日であるが授業を行う日を示す。

8月7日、2月12日・・・気象警報により休講とした場合の補講日

Ⅱ 履修等について

1 単位修得要領

単位修得に関しては各自十分注意し余裕のある単位修得に努められたい。もし不注意により卒業できない等のことがある場合の責任は学生自身が負わなければならない。したがって単位修得の責任は自らにあることを自覚し単位を修得されたい。

1. 履修手続きの方法

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければならない。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末を利用して各自行うこととする(履修登録のない科目の単位修得は認められない)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認すること。

なお、教養教育科目の1年間に履修できる単位数の上限は30単位である。ただし、グローバル人材育成特別コースの履修学生は除く。(外部検定試験等により認定された単位数は、これに含まない。)

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めない。

但し、登録内容の誤りや上限単位数を超過などで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り学内のコンピュータ端末を利用して変更等することができる。

(3) 履修科目の取消

定められた期間に教務学生担当へ申し出て、「履修登録科目の取り消し願」を記入のうえ提出すること。期間等詳細については、掲示にて通知する。

2. 単位認定及び成績評価

授業科目の単位認定は、試験、レポート及び平素の成績を考慮して担当教員が判定する。

授業は、講義、演習、実験または実習のいずれかの方法により又はこれらの併用により行われる。授業科目は、1単位当たり45時間の学修を必要とする内容をもって構成されることを標準とし、授業の方法による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数が定められている。

授業の種類・方法		授業による学修時間	授業以外の学修時間(予習・復習等)
教養教育科目	講義	15時間	30時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	45時間	0時間
	実習	30時間	15時間
専門教育科目	講義	15時間	30時間
	演習	15～30時間	30～15時間
	実験	45時間	0時間
	実習	30～45時間	15～0時間
	講義及び演習の併用	15時間	30時間

	卒業論文実習等、指導教員による研究指導に当たる授業	各指導教員の指導に従うものとする。
--	---------------------------	-------------------

通常、講義科目2単位を取得するためには、1回2時間（実質90分間）の授業に15回出席（30時間）し、当該授業に関する自学・自習・レポート作成等を行い、さらに試験等に合格することが必要である。

また、成績評価は、本学部の定める成績評価基準に基づき行い、下表のとおり表記する。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とする。

成績の評語及びグレード・ポイント（GP）

H19 以前入学者	H20 以降入学者		評点	基準等	
評語	評語	GP			
優	A+	4	100～90点	合格（単位を授与する）	
	A	3	89～80点		
	良	B	2		79～70点
	可	C	1		69～60点
不可	F	0	59点以下	不合格（単位を授与しない）	
	W	対象外	付さない	履修登録後、履修取消期間等に取消を行った場合	
認定	認定	対象外	付さない	既修得単位による単位認定等を受けた場合	
修了	修了	対象外	付さない	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたい場合、又は一定の到達度をもって評価し単位をする場合	
	未修得	対象外	付さない	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない。）とする場合	

おって、平成20年度以降入学者については、次の算式によりGPAを算出し、修得済み単位及びその成績評価と併せて通知する。

$$GPA = \frac{\text{（履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP）の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

3. 成績評価基準

岡山大学薬学部規程第17条の規定に基づき、本学部の成績評価基準について、次のとおり定める。

- 1 教育目標に対する学習者の到達度を見るため成績評価が必要であり、その目標と評価方法を個々の授業毎に講義要覧（シラバス）に明記する。
- 2 授業科目の単位認定は、試験、レポート、及び平素の成績を考慮して担当教員が判定する。
- 3 授業形態による評価方法の指針は、次のとおりとする。

講義	中間テスト、期末テスト又は小テストを適宜行い、それらの結果、出欠状況、講義中の発言、途中で課せられるレポート等を総合して評価する。
実習（薬学部内）	テスト、レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。
実習（病院・保険薬局）	レポート、実習態度（実習書に記載の注意点の遵守など）、出欠状況等を総合して評価する。

4 成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとする。

4. 補 講

担当教員が十分な講義回数を確保できないと判断した場合は、指定された以外の曜日・時限(休業中・水曜日午後等)に補講を行うことがある。

5. 試 験

(1) 受験心得

受験にあたっては、次の各事項に留意してください。

- ① 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- ② 監督者が指定した座席において受験すること。
- ③ 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- ④ 受験中、机の上に置くことができるのは、学生証、筆記用具及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- ⑤ 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- ⑥ 解答用紙には、所属学部名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- ⑦ 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- ⑧ 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- ⑨ 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。自己の机の上に置いて退出すると当該授業科目の単位は認定しない。
- ⑩ 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。

なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に開講する全ての授業科目（通年で開講する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

(2) 追試験について

疾病その他やむを得ない事故により受験の延期を希望する者は、予め所定の書式により受験延期願を提出し、その理由が認められた場合に限り追試験を受験できる。その場合は改めて追試験受験願を提出すること。

なお、緊急事態により事前に願書が提出できない場合は、事態の回復後速やかにその旨教務学生担当（教養教育科目については、学務企画課学務企画グループ）に申し出て指示を受けること。

6. 成績の通知について

各期の成績は、学期末に各自学務システムで確認すること。日時等詳細は、別途掲示する。

7. 副専攻コースについて

岡山大学では、平成17年度以降の入学生を対象に「副専攻コース*」を開設しているが、薬学部学生は4セメスター以降の日程が非常に過密なため、副専攻コースの履修を認めない。

*「副専攻コース」とは、各学部が編成する教育課程のほか、学生が所属する学部及び学科又は課程の専攻に係る分野において学習した知識をさらに広い視野のもとで有効に活かせることのできる能力を養うための教育課程を指す。

本学では、1学年を「前期」と「後期」に2分割する2学期制をとっており、多くの授業は1科目について15回（期末試験を含めると16回）行うことを基本としていて、学期ごとに完結するセメスター制を採用し、4年（8セメスター）ないし6年（12セメスター）にわたる一貫教育を行っている。

1 年		2 年		3 年		4 年	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター

5 年		6 年	
前 期	後 期	前 期	後 期
9セメスター	10セメスター	11セメスター	12セメスター

8. 外部検定試験等による単位認定について

次の基準により単位を認定します。

単位認定希望者は、薬学部教務学生担当へ申し出てください。

ただし、平成25年度以降薬学部入学生は、外部検定試験等による英語（総合英語1～5）の単位認定を行いません。

別表第1（平成25年度以降入学者）

外国語の種類別	単位認定の対象とする外部検定試験	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
英語	TOEIC 又は TOEIC IP	800点以上	総合英語5	3単位まで
	----- 実用英語技能検定（英検）	1級		
	----- 国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	A級		
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	570点以上		
	----- TOEFL iBT	89点以上		
	TOEIC 又は TOEIC IP	700点以上	総合英語5	2単位まで
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	540点以上		
	----- TOEFL iBT	74点以上		
	TOEIC 又は TOEIC IP	650点以上	総合英語5	1単位まで
	----- 実用英語技能検定（英検）	準1級		
	----- 国際連合公用語英語検定試験（国連英検）	B級		
	----- TOEFL PBT 又は TOEFL ITP	520点以上		
----- TOEFL iBT	68点以上			
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験（独検）	3級以上	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語初級Ⅰ（総合） ドイツ語初級Ⅱ（総合） ドイツ語中級	8単位まで
		4級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語初級Ⅰ（総合）	4単位まで
		5級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本）	2単位まで
フランス語	実用フランス語技能検定試験（仏検）	3級以上	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本） フランス語初級Ⅰ（総合） フランス語初級Ⅱ（総合） フランス語中級	8単位まで
		4級	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本） フランス語初級Ⅰ（総合）	4単位まで
		5級	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本）	2単位まで

中国語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	3級以上	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級II (文法) 中国語初級II (読本) 中国語初級 I (総合) 中国語初級 II (総合) 中国語中級	8単位まで
		2級	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本) 中国語初級II (文法) 中国語初級II (読本) 中国語初級 I (総合)	4単位まで
		1級	中国語初級 I (文法) 中国語初級 I (読本)	2単位まで
韓国語	韓国語能力試験	2級以上	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級II (文法) 韓国語初級II (読本) 韓国語初級 I (総合) 韓国語初級II (総合) 韓国語中級	8単位まで
		1級	韓国語初級 I (文法) 韓国語初級 I (読本) 韓国語初級II (文法) 韓国語初級II (読本) 韓国語初級 I (総合)	4単位まで
スペイン語	スペイン語技能検定	4級以上	スペイン語初級 I (総合) スペイン語初級II (総合) スペイン語中級	8単位まで
		5級	スペイン語初級 I (総合) スペイン語初級II (総合)	4単位まで
イタリア語	実用イタリア語検定	3級以上	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級II (文法) イタリア語初級II (読本) イタリア語中級	8単位まで
		4級	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本) イタリア語初級II (文法) イタリア語初級II (読本)	4単位まで
		5級	イタリア語初級 I (文法) イタリア語初級 I (読本)	2単位まで

- 備考 1 成績評価の評語は、「認定」とする。
2 一の授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
3 既に単位を修得済みの授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。

別表第3（平成25年度以降入学者）

海外語学研修の実施機関	単位認定基準	単位認定の対象とする授業科目の範囲	認定可能な単位数の上限
南オレゴン大学	南オレゴン大学の成績評価がD（下級）以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教養教育科目外国語科目の英語科目のうち、総合英語1～5を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目 	2単位まで
アデレード大学	アデレード大学の成績評価がD以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教養教育科目外国語科目の英語科目のうち、総合英語1～5を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目 	4単位まで
エクセター大学（INTO エクセター大学）	エクセター大学（INTO エクセター大学）の全ての成績評価項目が Satisfactory 以上で、かつ、最終試験結果が60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教養教育科目外国語科目の英語科目のうち、総合英語1～5を除く全ての授業科目 ・専門教育科目のうち、各学部が認める授業科目 	4単位まで
成均館大学校	成均館大学校の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本）	4単位まで
	成均館大学校の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	韓国語中級 韓国語初級Ⅱ（総合）	4単位まで
上海理工大學	上海理工大學の成績評価が60点以上	中国語中級	2単位まで
吉林大学	吉林大學の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）	4単位まで
	吉林大學の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語中級 中国語初級Ⅱ（総合）	4単位まで
首都師範大學	首都師範大學の初級1クラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）	4単位まで
	首都師範大學の初級2クラス以上のクラスにおいて、成績評価が60点以上	中国語中級 中国語初級Ⅱ（総合）	4単位まで

- 備考 1 成績評価の評語は、「認定」とする。
 2 一の授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。
 3 既に単位を修得済みの授業科目について、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、重複して単位認定を行うことはできない。

別表第1の1 (平成24年度入学者適用)

科 目	認 定 の 対 象 と す る 外 部 検 定 試 験 等	合 格 基 準	認 定 す る 授 業 科 目 ・ 単 位 数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC, ITPを含む)	500～645点 (OT3)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 2単位
		650～795点 (OT2)	別表第1附表-1の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準1級 B級 500点以上 173点以上 61点以上	} 別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 4単位
	【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC, ITPを含む)	800点以上 (OT1)	
実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1級 A級 550点以上 213点以上 79点以上	} 別表第1附表-2の①から⑥の中より 選択 8単位	
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	5級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) 又は ドイツ語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4級	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		3級以上	ドイツ語初級Ⅰ (文法) ドイツ語初級Ⅰ (読本) ドイツ語初級Ⅱ (文法) ドイツ語初級Ⅱ (読本) ドイツ語初級Ⅰ (総合) ドイツ語初級Ⅱ (総合) ドイツ語中級 } 8単位
フ ラ ン ス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級Ⅰ (文法) 又は フランス語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4級	フランス語初級Ⅰ (文法) フランス語初級Ⅰ (読本) フランス語初級Ⅱ (文法) フランス語初級Ⅱ (読本) フランス語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		3級以上	フランス語初級Ⅰ (文法) フランス語初級Ⅰ (読本) フランス語初級Ⅱ (文法) フランス語初級Ⅱ (読本) フランス語初級Ⅰ (総合) フランス語初級Ⅱ (総合) フランス語中級 } 8単位

別表第1の2（平成24年度入学者適用）

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
中国語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	1級	中国語初級Ⅰ (文法) 又は 中国語初級Ⅰ (読本) 2単位
		2級	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3級以上	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) 中国語中級 } 8単位
韓国語	韓国語能力試験	1級	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		2級以上	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) 韓国語初級Ⅱ (総合) 韓国語中級 } 8単位
スペイン語	スペイン語技能検定	5級	スペイン語初級Ⅰ (総合) 又は スペイン語初級Ⅱ (総合) 4単位
		4級以上	スペイン語初級Ⅰ (総合) スペイン語初級Ⅱ (総合) スペイン語中級 } 8単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	イタリア語初級Ⅰ (文法) 又は イタリア語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4級	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3級以上	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) イタリア語中級 } 8単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。
2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。
3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。
4 【英語関係Ⅰ】による単位認定の上限は、4単位とする。ただし、TOEIC (OT3) による単位認定の上限は、2単位とする。
5 【英語関係Ⅱ】のTOEIC (OT1) による単位認定の上限は、6単位とする。ただし、英語 (ネイティブ) の2単位を含めることとする。
6 外部検定試験等による単位認定は、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、一つの授業科目について1回限りとする。

別表第1附表-1（平成24年度入学者適用）

項番	授業科目名	備考
①	経済実用英語 英語（工学部）	・経済学部についてはOT1、OT2及びOT3（500点以上）の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT1（800点以上）の認定対象科目に含める
②	英語（ネイティブ）	・薬学部についてはOT2（650点～795点）の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT2（650点～795点）の認定対象科目に含める
③	英語（オラコン）	OT1 OT2 OT3
④	英語（作文・文法）	
⑤	英語（読解）	
⑥	英語（検定）	

別表第1附表-2（平成24年度入学者適用）

項番	授業科目名
①	英語（文学部） 英語（教育学部） 英語（法学部） 経済実用英語 英語（理学部） 英語（基礎医用英語） 英語（工学部） 英語（環境理工1） 英語（環境理工2） 英語（環境理工3） 英語（環境理工4） 英語（MPコース）
②	英語（ネイティブ）
③	英語（オラコン）
④	英語（作文・文法）
⑤	英語（読解）
⑥	英語（検定）

別表第2の1（平成20年度～平成23年度入学者適用）

科 目	認 定 の 対 象 と す る 外 部 検 定 試 験 等	合 格 基 準	認 定 す る 授 業 科 目 ・ 単 位 数
英 語	【英語関係Ⅰ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	470～585点 (OT3)	別表第2附表-1の③から⑥の中より選択 2単位
		590～725点 (OT2)	別表第2附表-1の③から⑥の中より選択 4単位
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	準1級	} 別表第2附表-2の①から⑥の中より 選択 4単位
		B級	
		500点以上	
		173点以上	
【英語関係Ⅱ】 Test of English for International Communication (TOEIC, IPを含む)	730点以上 (OT1)	英語（ネイティブ） 2単位 及び 別表第2附表-1の③から⑥の中より選択 4単位	
	実用英語技能検定 (英検) 国際連合公用語・英語検定試験 (国連英検) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・PBT, ITPを含む) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・CBT) Test of English as a Foreign Language (TOEFL・iBT)	1級	} 別表第2附表-2の①から⑥の中より 選択 8単位
A級			
550点以上			
213点以上			
ド イ ツ 語	ドイツ語技能検定試験 (独検)	5級	ドイツ語初級Ⅰ（文法）又は ドイツ語初級Ⅰ（読本） 2単位
		4級	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語初級Ⅰ（総合） } 4単位
		3級以上	ドイツ語初級Ⅰ（文法） ドイツ語初級Ⅰ（読本） ドイツ語初級Ⅱ（文法） ドイツ語初級Ⅱ（読本） ドイツ語初級Ⅰ（総合） ドイツ語初級Ⅱ（総合） ドイツ語中級 } 8単位
フ ラ ン ス 語	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	5級	フランス語初級Ⅰ（文法）又は フランス語初級Ⅰ（読本） 2単位
		4級	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本） フランス語初級Ⅰ（総合） } 4単位
		3級以上	フランス語初級Ⅰ（文法） フランス語初級Ⅰ（読本） フランス語初級Ⅱ（文法） フランス語初級Ⅱ（読本） フランス語初級Ⅰ（総合） フランス語初級Ⅱ（総合） フランス語中級 } 8単位

別表第2の2（平成20年度～平成23年度入学者適用）

科目	認定の対象とする外部検定試験等	合格基準	認定する授業科目・単位数
中国語	漢語水平考試 (HSK) (筆記試験のみ)	1級	中国語初級Ⅰ (文法) 又は 中国語初級Ⅰ (読本) 2単位
		2級	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3級以上	中国語初級Ⅰ (文法) 中国語初級Ⅰ (読本) 中国語初級Ⅱ (文法) 中国語初級Ⅱ (読本) 中国語中級 } 8単位
韓国語	韓国語能力試験	1級	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) } 4単位
		2級以上	韓国語初級Ⅰ (文法) 韓国語初級Ⅰ (読本) 韓国語初級Ⅱ (文法) 韓国語初級Ⅱ (読本) 韓国語初級Ⅰ (総合) 韓国語初級Ⅱ (総合) 韓国語中級 } 8単位
スペイン語	スペイン語技能検定	6級	スペイン語初級Ⅰ (文法) 又は スペイン語初級Ⅰ (読本) 2単位
		5級	スペイン語初級Ⅰ (文法) スペイン語初級Ⅰ (読本) スペイン語初級Ⅱ (文法) スペイン語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		4級以上	スペイン語初級Ⅰ (文法) スペイン語初級Ⅰ (読本) スペイン語初級Ⅱ (文法) スペイン語初級Ⅱ (読本) スペイン語中級 } 8単位
イタリア語	実用イタリア語検定	5級	イタリア語初級Ⅰ (文法) 又は イタリア語初級Ⅰ (読本) 2単位
		4級	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) } 4単位
		3級以上	イタリア語初級Ⅰ (文法) イタリア語初級Ⅰ (読本) イタリア語初級Ⅱ (文法) イタリア語初級Ⅱ (読本) イタリア語中級 } 8単位

- 備考 1 成績の取り扱いは「認定」とする。
 2 外部検定試験等による単位認定は、一外国語につき8単位を限度とする。
 3 英語に関しては、【英語関係Ⅰ】と【英語関係Ⅱ】は重複して単位認定の対象とする。
 4 【英語関係Ⅰ】による単位認定の上限は、4単位とする。ただし、TOEIC (OT3) による単位認定の上限は、2単位とする。
 5 【英語関係Ⅱ】のTOEIC (OT1) による単位認定の上限は、6単位とする。ただし、英語 (ネイティブ) の2単位を含めることとする。
 6 外部検定試験等による単位認定は、同一科目名の繰り返し履修が可能な授業科目を除いて、一つの授業科目について1回限りとする。

別表第2附表-1 (平成20年度～平成23年度入学者適用)

項番	授業科目名	備考
①	経済実用英語 英語 (工学部)	・経済学部についてはOT1, OT2及びOT3 (470点以上) の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT1 (730点以上) の認定対象科目に含める
②	英語 (ネイティブ)	・薬学部についてはOT2 (590点～725点) の認定対象科目に含める ・工学部についてはOT2 (590点～725点) の認定対象科目に含める
③	英語 (オラコン)	OT1 OT2 OT3
④	英語 (作文・文法)	
⑤	英語 (読解)	
⑥	英語 (検定)	

別表第2附表-2 (平成20年度～平成23年度入学者適用)

項番	授業科目名
①	英語 (文学部) 英語 (教育学部) 英語 (法学部) 経済実用英語 英語 (理学部) 英語 (基礎医用英語) 英語 (工学部) 英語 (環境理工1) 英語 (環境理工2) 英語 (環境理工3) 英語 (環境理工4) 英語 (MPコース)
②	英語 (ネイティブ)
③	英語 (オラコン)
④	英語 (作文・文法)
⑤	英語 (読解)
⑥	英語 (検定)

別表第8（大学間交流協定に基づく語学研修の学修成果に係る取扱い）

語学研修大学名	合格基準	認定科目	認定単位数	備考
南オレゴン大学	南オレゴン大学の成績評価 D（下級）以上	教養教育科目 外国語科目 英語 又は 専門教育科目 (認定科目の指定は各学部のために委ねる)	2単位	平成11年度～平成 24年度入学者 に適用
アデレード大学	アデレード大学の成績評価 D以上	教養教育科目 外国語科目 英語 又は 専門教育科目 (認定科目の指定は各学部のために委ねる)	4単位まで	平成11年度～平成 24年度入学者 に適用
成均館大学校	成均館大学校の成績評価 60点以上			
	①初級1クラス	朝鮮語初級Ⅱ 朝鮮語初級Ⅱ	2単位 2単位	平成11年度～ 平成15年度入 学者に適用
	②初級2クラス以上	朝鮮語中級 朝鮮語中級	2単位 2単位	
	①初級1クラス	朝鮮語初級Ⅱ（文法） 朝鮮語初級Ⅱ（読本）	2単位 2単位	平成16年度～ 平成18年度入 学者に適用
	②初級2クラス以上	朝鮮語中級 朝鮮語中級 又は 朝鮮語初級Ⅱ（総合）	2単位 2単位 4単位	
	①初級1クラス	韓国語初級Ⅱ（文法） 韓国語初級Ⅱ（読本）	2単位 2単位	平成19年度～平 成24年度入学者 に適用
	②初級2クラス以上	韓国語中級 韓国語中級 又は 韓国語初級Ⅱ（総合）	2単位 2単位 4単位	
上海理工大学	上海理工大学の成績評価 60点以上	中国語中級	2単位	平成11年度～平 成24年度入学者 に適用
吉林大学	吉林大学の成績評価 60点以上			
	①初級1クラス	中国語初級Ⅱ 中国語初級Ⅱ	2単位 2単位	平成11年度～平 成15年度入学者 に適用
	②初級2クラス以上	中国語中級 中国語中級	2単位 2単位	
	①初級1クラス	中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）	2単位 2単位	平成16年度～平 成24年度入学者 に適用
	②初級2クラス以上	中国語中級 中国語中級 又は 中国語初級Ⅱ（総合）	2単位 2単位 4単位	
首都師範大学	首都師範大学の成績評価 60点以上			
	①初級1クラス	中国語初級Ⅱ 中国語初級Ⅱ	2単位 2単位	平成11年度～平 成15年度入学者 に適用
	②初級2クラス以上	中国語中級 中国語中級	2単位 2単位	
	①初級1クラス	中国語初級Ⅱ（文法） 中国語初級Ⅱ（読本）	2単位 2単位	平成16年度～平 成24年度入学者 に適用
	②初級2クラス以上	中国語中級 中国語中級 又は 中国語初級Ⅱ（総合）	2単位 2単位 4単位	

別表第9（外部機関に委託して実施する語学研修の学修成果に係る取扱い）

語学研修大学名	合格基準	認定科目	認定単位数	備考
エクセター大学 (INTOエクセター大学)	エクセター大学(INTOエクセ ター大学)の成績評価 全ての成績評価項目が Satisfactory 以上で、かつ、最終試験結果 が60%以上	教養教育科目 外国語科目 英語 又は 専門教育科目 (認定科目の指定は各学部のために委ねる)	4単位まで	平成11年度～平 成24年度入学者 に適用

2 各学科のカリキュラム

【薬学科 平成24年度以降入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目 28 単位以上、専門基礎科目 12 単位、専門科目 必修 12 単位以上、計 52 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目所定の 32 単位以上、専門基礎科目 12 単位、専門科目 必修 59* 単位以上、計 103 単位以上を修得した者とする。

*ただし、薬学系実習（2年次後期、3年次前期、計9単位）が含まれていること

第5年次への進級

4年次末までに、教養教育科目所定の 32 単位以上、専門基礎科目 12 単位、専門科目 必修 104* 以上、計 148 単位以上を修得した者とする。

*ただし、実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲ（4年次、8単位）が含まれていること

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、5年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数	
教養教育科目			32	
専門教育科目	専門基礎科目		12	165
	専門科目	必修	149	
		選択	4	
卒業要件単位			197	

【薬学科 平成23年度以前入学者】

1. 進級要件

薬学科では、2年次から3年次、3年次から4年次及び4年次から5年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級（基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ、衛生薬学系実習、医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件）

2年次末までに、教養教育科目 26 単位以上、専門基礎科目 8 単位以上、専門科目 30 単位（選択科目Ⅰ 30 単位）以上、計 64 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級（実務実習事前教育 1～5 履修要件）

3年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上、専門基礎科目 10 単位以上、専門科目 64 単位（必修科目 9 単位、選択科目Ⅰ 50 単位、選択科目Ⅱ 5 単位）以上、計 104 単位以上を修得した者とする。

第5年次への進級（卒業論文実習・病院実務実習・薬局実務実習 履修要件）

4年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上、専門基礎科目 10 単位以上、専門科目 112 単位（必修科目 17 単位、選択科目Ⅰ 78 単位、選択科目Ⅱ 17 単位）以上、計 152 単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後7年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成23年度以前入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す薬学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す薬学科第4年次進級要件単位数
4年次	上記1に示す薬学科第5年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		30		
専門教育科目	専門基礎科目	10	167	
	専門科目	必修		49
		選択Ⅰ		82
		選択Ⅱ		26
卒業要件単位		197		

4. 卒業認定に必要な教養教育科目単位数

(平成26年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題		8	開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する			
	人間と社会						
	健やかに生きる						
	自然と技術						
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
		支えるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から 一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級						
	スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)				留学生用 10単位まで		
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成25年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
		支えるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		プレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
	英語特別演習2						
	ドイツ語	ドイツ語初級		4		授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
スペイン語中級							
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)				留学生用 10単位まで		
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成24年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位			
		必修	選択必修					
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2			
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから、それぞれ1授業科目2単位以上を履修				
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目						
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目						
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目						
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目						
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2				
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学						
		スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで			
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい				
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)		4				
		英語(ネイティブ)		2				
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択	30		
		プレ上級英語						
		上級英語						
		英語特別演習1						
		英語特別演習2						
	ドイツ語	ドイツ語初級		4	授業科目群から一種類を選択			
		ドイツ語中級						
	フランス語	フランス語初級						
		フランス語中級						
	中国語	中国語初級						
		中国語中級						
	韓国語	韓国語初級						
		韓国語中級						
	ロシア語	ロシア語初級						
		ロシア語中級						
	スペイン語	スペイン語初級						
スペイン語中級								
イタリア語	イタリア語初級							
	イタリア語中級							
日本語	日本語(A, B, C, D)						留学生用 10単位まで	
計							32	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成23年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位
		必修	選択必修		
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目			
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目			
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目			
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2	
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで	
	情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)		2単位履修することが望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択	28
		英語(ネイティブ)	2		
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)	2		
		上級英語 英語特別演習1 英語特別演習2			
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から一種類を選択	
		ドイツ語中級			
	フランス語	フランス語初級			
		フランス語中級			
	中国語	中国語初級			
		中国語中級			
	韓国語	韓国語初級			
		韓国語中級			
	ロシア語	ロシア語初級			
		ロシア語中級			
	スペイン語	スペイン語初級			
		スペイン語中級			
イタリア語	イタリア語初級				
	イタリア語中級				
日本語	日本語(A, B, C, D)				留学生用 10単位まで
計					30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで			
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28		
		英語(ネイティブ)	2				
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)	2				
	ドイツ語	上級英語				授業科目群から 一種類を選択	
		英語特別演習1					
		英語特別演習2					
		ドイツ語	ドイツ語初級	4			
			ドイツ語中級				
		フランス語	フランス語初級				
			フランス語中級				
		中国語	中国語初級				
			中国語中級				
		韓国語	韓国語初級				
韓国語中級							
ロシア語	ロシア語初級						
	ロシア語中級						
スペイン語	スペイン語初級						
	スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで			
計					30		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成19年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		開講授業科目及び その単位について は、岡山大学教育 開発センター長が 学年の始めに公示 する 4つの主題グループ のうちから3つ以上 を選択し、それぞれ 1授業科目2単位以 上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで		
	情報科学	情報処理入門		2単位履修すること が望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28	
		英語(ネイティブ)	2			
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)	2			
	上級英語	英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から 一種類を選択		留学生用 10単位まで
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級					
	ロシア語中級					
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)					
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

5. 専門教育科目【薬学科H25年度以降入学対象科目】

I 専門基礎科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
物理化学Ⅰ	山下	2		前期	1	H23以前入学対象：物理化学
有機化学Ⅰ	竹内	2		前期	1	
生物化学Ⅰ	森山, 表	2		後期	1	
生物化学Ⅱ	岡本, 高橋	2		後期	1	
有機化学Ⅱ	宮地(弘), 松野	2		後期	1	
物理化学Ⅱ	井上	2		後期	1	H23以前入学対象：薬品物理化学Ⅰ
専門基礎科目卒業要件単位		1	2			

II 専門科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員		1	通年	1	
早期体験学習	四宮 他	1		前期	1	H23以前入学対象：医療薬学入門
SGD入門	檜垣, 名倉, 杉本		1	前期後半	1	
基礎生物学Ⅰ	表, 森山	2		前期前半	1	
基礎生物学Ⅱ	表, 根岸	2		前期後半	1	H23以前入学対象：基礎遺伝学
生薬学Ⅰ	波多野, 谷口	2		後期	1	
分析科学Ⅰ	御船	2		前期	1	H23以前入学対象：薬品分析学Ⅰ
分析科学Ⅱ	榎本, 御船, 山下, 神野	2		後期	1	H23以前入学対象：薬品分析学Ⅱ
薬用植物学	波多野, 谷口		2	前期	1	
無機化学	榎本	1		後期前半	1	H23以前入学対象：無機薬化学
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員		1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 西岡		1	後期前半	2	
生理学	高山, 杉本	2		前期	2	
生物化学Ⅲ	表	2		前期	2	
分子細胞生物学Ⅰ	黒田	2		前期	2	H23以前入学対象：生物化学Ⅳ
分子細胞生物学Ⅱ	根岸, 有元		2	後期	2	
有機化学Ⅲ	竹内, 宮地(弘)	2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野, 谷口	2		前期	2	
機能性天然素材学	波多野, 谷口		2	後期	2	
薬理学Ⅰ	上原	2		後期	2	H23以前入学対象：薬効解析学Ⅰ
衛生薬学Ⅰ	成松	2		後期	2	
生物薬剤学	檜垣	2		後期	2	
薬剤学	大河原	2		前期	2	
医薬品構造解析学	竹内, 神野	2		前期	2	
物理化学Ⅲ	上田	2		前期	2	H23以前入学対象：薬品物理化学Ⅱ
物理化学Ⅳ	井上	2		後期	2	H23以前入学対象：生物物理化学
微生物学	黒田	2		後期	2	
生物化学Ⅳ	森山, 宮地(孝), 日浅, 樹下	2		後期	2	H23以前入学対象：分子細胞生物学

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
有機化学Ⅳ	澤田, 加来田	2		後期	2	H23以前入学者対象: 有機反応化学
放射医薬品学	上田	2		前期	2	H23以前入学者対象: 放射薬品学・放射線概論
製剤学	大河原	2		後期	2	
人体解剖学	大塚(愛), 西田, 百田, 小阪, 田口	2		前期	2	
薬学基本実習	黒田, 谷口, 高橋, 田中さ, 西岡, 古田, 安井	0.5		後・集中	2	H24以前入学者対象: 衛生薬学系実習 ※衛生薬学実習と併せて修得した場合に限る。
薬学基礎実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1		後・集中	2	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅰ
薬学基礎実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地(弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡, 脇	2		後・集中	2	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅱ
薬学基礎実習Ⅲ		2			3	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰを統合 H27年度以降開講予定
衛生薬学実習		1.5			3	H24以前入学者対象: 衛生薬学系実習 ※薬学基本実習と併せて修得した場合に限る。 H27年度以降開講予定
医療薬学実習		2			3	H24以前入学者対象: 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲを統合 H27年度以降開講予定
分子細胞生物学Ⅲ	杉本, 古田	2		前期	3	H23以前入学者対象: ゲノム創薬学
生物統計学	有元, 黒田	2			3	H26年度未開講
有機化学Ⅴ	竹内, 佐々木		2	前期	3	H23以前入学者対象: 複素環化学
漢方薬学概論	波多野, 谷口	2		前期	3	H23以前入学者対象: 漢方処方学
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉		1	前・集中	3~6	
薬理学Ⅱ	上原	2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅱ
薬理学Ⅲ	(未定)	2		後期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅲ
薬理学Ⅳ	上原	2		後期	3	H23以前入学者対象: 生物化学Ⅴ
衛生薬学Ⅱ	三好	2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松	2		前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好	2		後期	3	
毒性学	成松		1	後期	3	
癌の生物学	有元, 根岸		2	後期	3	
分析科学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣(佑)	2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬品分析学Ⅲ
化学療法学	黒田, 有元	2		前期	3	H23以前入学者対象: 感染症治療学と癌薬物治療学を統合
免疫学Ⅰ	田中	2		前期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅰ
免疫学Ⅱ	田中	2		後期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅱ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野	2		前期	3	
医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。)	宮地(弘), 山下		2	後期	3	H23以前入学者対象: 医薬化学Ⅱ
有機合成反応論	澤田		2	後期	3	
医薬品情報学	金, 北村	2		前期	3	

授 業 科 目	教 員	単 位		期別	配当年次	備 考
		必修	選択			
診断治療学	小倉, 大西, 岩崎, 清水, 古賀, 中村	2		後期	3	
薬物治療学Ⅰ	狩野 (コーディネーター)	2		後期	3	
薬物治療学Ⅱ	狩野 (コーディネーター)	2		後期	3	
医薬品開発学	合葉		1	前期前半	3	
薬物動態学	檜垣	2		後期	3	
薬剤師倫理学	名倉	1		前期前半	3	
卒業論文基礎実習	各教員		6	3学期またがり	3～4	H23以前入学者対象：薬学応用実習と卒業研究準備実習が統合
薬物治療学Ⅲ	須野, 四宮, 小山, 座間味	2		前期	4	H23以前入学者対象：病院薬学
実務実習事前教育Ⅰ	名倉 (コーディネーター)	2		前期	4	H23以前入学者対象：調剤学
実務実習事前教育Ⅱ	狩野, 黒崎, 須野, 小山, 座間味	2		前期	4	H23以前入学者対象：臨床薬学
実務実習事前教育Ⅲ	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	4		後・集中	4	H23以前入学者対象：実務実習事前教育1～5統合
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂, 北村, 河崎, 錦織, 猪田, 晴田, 藤原, 鍛冶園, 西宮, 平	2		前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅱ	黒崎	2		前期	4	
薬事法規・薬事行政	合葉, 杉本	2		前期	4	H23以前入学者対象：薬事行政と薬事法規が統合 H26年度未開講
コミュニティファーマシー	座間味 (コーディネーター)	1		前期前半	4	
臨床薬物動態学	合葉		2	前期	4	
臨床病態学Ⅰ	臼井 他	2		前期	4	
臨床病態学Ⅱ	須野	2		前期	4	
病院実務実習	教務副委員長 (コーディネーター)	1 0		通年	5	
薬局実務実習	教務副委員長 (コーディネーター)	1 0		通年	5	
臨床薬学演習Ⅰ	名倉 (コーディネーター)		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅱ	名倉 (コーディネーター), 須野		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅲ	狩野 (コーディネーター), 須野		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅳ	須野 (コーディネーター)		1	通年	5・6	
卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	各教員	1 2		4学期またがり	5～6	
専門科目卒業要件単位		1 4 9	4			

Ⅲ 専門科目 (自由科目)

授 業 科 目	教 員	単位	期別	配当年次	備 考
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	
総合薬学演習	竹内	4	集中	6	H23入学者対象：総合薬学演習A

専門教育科目【薬学科H24年度入学者対象科目】

I 専門基礎科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
物理化学Ⅰ	山下	2		前期	1	H23以前入学者対象：物理化学
有機化学Ⅰ	竹内	2		前期	1	
生物化学Ⅰ	森山, 表	2		後期	1	
生物化学Ⅱ	岡本, 高橋	2		後期	1	
有機化学Ⅱ	宮地(弘), 松野	2		後期	1	
物理化学Ⅱ	井上	2		後期	1	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅰ
専門基礎科目卒業要件単位		1	2			

II 専門科目

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員		1	通年	1	
早期体験学習	四宮 他	1		前期	1	H23以前入学者対象：医療薬学入門
SGD入門	檜垣, 名倉, 杉本		1	前期後半	1	
基礎生物学Ⅰ	表, 森山	2		前期前半	1	
基礎生物学Ⅱ	表, 根岸	2		前期後半	1	H23以前入学者対象：基礎遺伝学
生薬学Ⅰ	波多野, 谷口	2		後期	1	
分析科学Ⅰ	御船	2		前期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅰ
分析科学Ⅱ	榎本, 御船, 山下, 神野	2		後期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅱ
薬用植物学	波多野, 谷口		2	前期	1	
無機化学	榎本	1		後期前半	1	H23以前入学者対象：無機薬化学
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員		1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 西岡		1	後期前半	2	
生理学	高山, 杉本	2		前期	2	
生物化学Ⅲ	表	2		前期	2	
分子細胞生物学Ⅰ	黒田	2		前期	2	H23以前入学者対象：生物化学Ⅳ
分子細胞生物学Ⅱ	根岸, 有元		2	後期	2	
生物統計学	有元, 黒田	2			2	H26年度未開講
有機化学Ⅲ	竹内, 宮地(弘)	2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野, 谷口	2		前期	2	
機能性天然素材学	波多野, 谷口		2	後期	2	
薬理学Ⅰ	上原	2		後期	2	H23以前入学者対象：薬効解析学Ⅰ
衛生薬学Ⅰ	成松	2		後期	2	
生物薬剤学	檜垣	2		後期	2	
薬剤学	大河原	2		前期	2	
医薬品構造解析学	竹内, 神野	2		前期	2	
物理化学Ⅲ	上田	2		前期	2	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅱ
物理化学Ⅳ	井上	2		後期	2	H23以前入学者対象：生物物理化学
微生物学	黒田	2		後期	2	

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
生物化学Ⅳ	森山, 宮地 (孝), 日浅, 樹下	2		後期	2	H23以前入学者対象: 分子細胞生物学
有機化学Ⅳ	澤田, 加来田	2		後期	2	H23以前入学者対象: 有機反応化学
放射医薬品学	上田	2		前期	2	H23以前入学者対象: 放射薬品学・放射線概論
製剤学	大河原	2		後期	2	
人体解剖学	大塚 (愛), 西田, 百田, 小阪, 田口	2		前期	2	
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1		後・集中	2	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅰ
基礎薬学系実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地 (弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡、脇	2		後・集中	2	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅱ
基礎薬学系実習Ⅲ	表, 宮地 (孝)	1		前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
分子細胞生物学Ⅲ	杉本, 古田	2		前期	3	H23以前入学者対象: ゲノム創薬学
有機化学Ⅴ	竹内, 佐々木		2	前期	3	H23以前入学者対象: 複素環化学
漢方薬学概論	波多野, 谷口	2		前期	3	H23以前入学者対象: 漢方処方学
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉		1	前・集中	3～6	
薬理学Ⅱ	上原	2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅱ
薬理学Ⅲ	(未定)	2		後期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅲ
薬理学Ⅳ	上原	2		後期	3	H23以前入学者対象: 生物化学Ⅴ
衛生薬学Ⅱ	三好	2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松	2		前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好	2		後期	3	
毒性学	成松		1	後期	3	
癌の生物学	有元, 根岸		2	後期	3	
分析科学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣 (佑)	2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬品分析学Ⅲ
化学療法学	黒田, 有元	2		前期	3	H23以前入学者対象: 感染症治療学と癌薬物治療学を統合
免疫学Ⅰ	田中	2		前期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅰ
免疫学Ⅱ	田中	2		後期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅱ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野	2		前期	3	
医薬化学Ⅱ (構造生物学を含む。)	宮地 (弘), 山下		2	後期	3	H23以前入学者対象: 医薬化学Ⅱ
有機合成反応論	澤田		2	後期	3	
医薬品情報学	金, 北村	2		前期	3	
診断治療学	小倉, 大西, 岩崎, 清水, 古賀, 中村	2		後期	3	
衛生薬学系実習	成松, 高橋, 根岸, 有元, 黒田	2		前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基本実習および衛生薬学実習
医療薬学系実習Ⅰ	田中, 古田	1		前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1		前・集中	3	H25以降入学者対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
医療薬学系実習Ⅲ	大河原, 檜垣, 高山, 黒崎, 金	1		前・集中	3	H25以降入学者対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
薬物治療学Ⅰ	狩野 (コーディネーター)	2		後期	3	

授 業 科 目	教 員	単 位		期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択			
薬物治療学Ⅱ	狩野（コーディネーター）	2		後期	3	
医薬品開発学	合葉		1	前期前半	3	
薬物動態学	檜垣	2		後期	3	
薬剤師倫理学	名倉	1		前期前半	3	
卒業論文基礎実習	各教員		6	3学期ま たがり	3～4	H23以前入学者対象：薬学応用実習 と卒業研究準備実習が統合
薬物治療学Ⅲ	須野，四宮，小山，座間味	2		前期	4	H23以前入学者対象：病院薬学
実務実習事前教育Ⅰ	名倉（コーディネーター）	2		前期	4	H23以前入学者対象：調剤学
実務実習事前教育Ⅱ	狩野，黒崎，須野，小山，座 間味	2		前期	4	H23以前入学者対象：臨床薬学
実務実習事前教育Ⅲ	狩野，名倉，合葉，須野，四 宮，小山，座間味	4		後・集中	4	H23以前入学者対象：実務実習事前 教育1～5統合
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂，北村，河崎，錦織，猪 田，晴田，藤原，鍛冶園，西 宮，平	2		前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅱ	黒崎	2		前期	4	
薬事法規・薬事行政	合葉，杉本	2		前期	4	H23以前入学者対象：薬事行政と薬 事法規が統合 H26年度未開講
コミュニティファーマシー	座間味（コーディネーター）	1		前期前半	4	
臨床薬物動態学	合葉		2	前期	4	
臨床病態学Ⅰ	白井 他	2		前期	4	
臨床病態学Ⅱ	須野	2		前期	4	
病院実務実習	教務副委員長（コーディネーター）	1 0		通年	5	
薬局実務実習	教務副委員長（コーディネーター）	1 0		通年	5	
臨床薬学演習Ⅰ	名倉（コーディネーター）		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅱ	名倉（コーディネーター）， 須野		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅲ	狩野（コーディネーター）， 須野		1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅳ	須野（コーディネーター）		1	通年	5・6	
卒業論文実習（卒業制作物 を含む。）	各教員	1 2		4学期ま たがり	5～6	
専門科目卒業要件単位		1 4 9	4			

Ⅲ 専門科目（自由科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	
総合薬学演習	竹内	4	集中	6	H23入学者対象：総合薬学演習A

専門教育科目【薬学科H23年度以前入学者対象科目】

I 専門基礎科目

授業科目	教員	単位		期別	配当年次	備考
		必修	選択			
物理化学	山下		2	前期	1	H24以降入学者対象：物理化学Ⅰ
有機化学Ⅰ	竹内		2	前期	1	
生物化学Ⅰ	森山，表		2	後期	1	
生理学	高山，杉本		2	前期	1	
生物化学Ⅱ	岡本，高橋		2	後期	1	
生物化学Ⅲ	表		2	前期	2	
生物統計学	有元，黒田		2		2	H26年度未開講
専門基礎科目卒業要件単位			10			

II 専門科目

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
無機薬化学	榎本		1		後期前半	1	H24以降入学者対象：無機化学
薬用植物学	波多野，谷口			2	前期	1	
薬品物理化学Ⅰ	井上		2		後期	1	H24以降入学者対象：物理化学Ⅱ
有機化学Ⅱ	宮地（弘），松野		2		後期	1	
生薬学Ⅰ	波多野，谷口		2		後期	1	
微生物学	黒田		2		後期	1	
医療薬学入門	四宮 他			1	前期	1	H24以降入学者対象：早期体験学習
薬品物理化学Ⅱ	上田		2		前期	2	H24以降入学者対象：物理化学Ⅲ
薬品分析学Ⅰ	御船		2		前期	2	H24以降入学者対象：分析科学Ⅰ
有機化学Ⅲ	竹内，宮地（弘）		2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野，谷口		2		前期	2	
生物化学Ⅳ	黒田		2		前期	2	H24以降入学者対象：分子細胞生物学Ⅰ
薬剤学	大河原		2		前期	2	
薬効解析学Ⅰ	上原		2		後期	2	H24以降入学者対象：薬理学Ⅰ
感染症治療学	黒田，有元		2		前期	2	H24以降入学者対象：化学療法学
人体解剖学	大塚（愛），西田，百田，小阪，田口		2		前期	2	
放射薬品学・放射線概論	上田			2	前期	2	H24以降入学者対象：放射医薬品学
生物物理化学	井上		2		後期	2	H24以降入学者対象：物理化学Ⅳ
薬品分析学Ⅱ	榎本，御船，山下，神野		2		後期	2	H24以降入学者対象：分析科学Ⅱ
生物化学Ⅴ	上原		2		後期	2	H24入学者対象：薬理学Ⅳ
生体防御機能学Ⅰ	田中		2		前期	2	H24以降入学者対象：免疫学Ⅰ
医薬品構造解析学	竹内，神野		1		前期	2	
製剤学	大河原		2		後期	2	
薬効解析学Ⅱ	上原		2		前期	2	H24以降入学者対象：薬理学Ⅱ
衛生薬学Ⅰ	成松		2		後期	2	
有機反応化学	澤田，加来田		1		後期	2	H24以降入学者対象：有機化学Ⅳ

授 業 科 目	教 員	単 位			期別	配当年次	備 考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
漢方処方学	波多野, 谷口		1		前期	2	H24以降入学者対象: 漢方薬学概論
癌の生物学	有元, 根岸			2	後期	2	
生体防御機能学Ⅱ	田中		1		前期	3	H24以降入学者対象: 免疫学Ⅱ
生物薬剤学	檜垣		2		前期	3	
薬事法規	合葉, 杉本		1		後期	3	H24以降入学者対象: 薬事法規・薬事行政が統合 H26年度未開講
薬事行政	杉本			1	後期	3	H24以降入学者対象: 薬事法規・薬事行政が統合 H26年度未開講
薬効解析学Ⅲ	(未定)		2		後期	3	H24以降入学者対象: 薬理学Ⅲ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野		2		前期	3	
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松		2		前期	3	
医薬品開発学	合葉			1	前期前半	3	
薬品分析学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣(佑)			2	前期	3	H24以降入学者対象: 分析科学Ⅲ
複素環化学	竹内, 佐々木			2	前期	3	H24以降入学者対象: 有機化学Ⅴ
機能性天然素材学	波多野, 谷口			2	後期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好		2		後期	3	
ゲノム創薬学	黒田			1	前期	3	H24以降入学者対象: 分子細胞生物学Ⅲ
医薬化学Ⅱ	宮地(弘), 山下			2	後期	3	
バイオ技術演習	有元			1	後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1			後・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅰ
基礎薬学系実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地(弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡、脇	2			後・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅱ
基礎薬学系実習Ⅲ	表, 宮地(孝)	1			前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅰ	田中, 古田	1			前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1			後・集中	3	H25以降入学者対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
衛生薬学系実習	成松, 高橋, 根岸, 有元, 黒田	2			前・集中	3	H25以降入学者対象: 薬学基本実習および衛生薬学実習
医療薬学系実習Ⅲ	大河原, 檜垣, 高山, 黒崎, 金	1			後・集中	3	H25以降入学者対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
薬物治療学Ⅰ	狩野(コーディネーター)		2		前期	4	
医薬品情報学	金, 北村		2		前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂, 北村, 河崎, 錦織, 猪田, 晴田, 藤原, 鍛冶園, 西宮, 平		2		前期	4	
細胞療法・診断学	高山, 田中		2		前期	4	
調剤学	名倉		2		前期	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅰ
コミュニティファーマシー	座間味(コーディネーター)		1		前期前半	4	

授 業 科 目	教 員	単 位			期別	配当年次	備 考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
薬物動態学	檜垣		2		前期	4	
臨床病態学Ⅰ	臼井 他		2		前期	4	
総合薬学演習Ⅰ	表 (コーディネーター)			1	後・集中	4	
有機化学演習Ⅰ	佐々木			1	後・集中	4	
実務実習事前教育 1	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	1			後・集中	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅲ
実務実習事前教育 2	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	2			後・集中	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅲ
実務実習事前教育 3	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	2			後・集中	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅲ
実務実習事前教育 4	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	2			後・集中	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅲ
実務実習事前教育 5	狩野, 名倉, 合葉, 須野, 四宮, 小山, 座間味	1			後・集中	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅲ
薬物治療学Ⅱ	狩野 (コーディネーター)		2		前期	4	
病院薬学	須野, 四宮, 小山, 座間味		2		前期	4	H24以降入学者対象: 薬物治療学Ⅲ
臨床医薬品治療学Ⅱ	黒崎		2		前期	4	
臨床薬学	狩野, 黒崎, 須野, 小山, 座間味		2		前期	4	H24以降入学者対象: 実務実習事前教育Ⅱ
診断治療学	小倉, 大西, 岩崎, 清水, 古賀, 中村		2		後期	4	
臨床薬物動態学	合葉		2		前期	4	
臨床病態学Ⅱ	須野		2		前期	4	
総合薬学演習Ⅱ	表 (コーディネーター)			1	後・集中	4	
病院実務実習	教務副委員長 (コーディネーター)	1	0		通年	5	
薬局実務実習	教務副委員長 (コーディネーター)	1	0		通年	5	
臨床薬学演習Ⅰ	名倉 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅱ	名倉 (コーディネーター), 須野			1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅲ	狩野 (コーディネーター), 須野			1	通年	5・6	
臨床薬学演習Ⅳ	須野 (コーディネーター)			1	通年	5・6	
卒業論文実習 (卒業制作物を含む。)	各教員	1	2		通年	5・6	
総合薬学演習 A	竹内			2	後・集中	6	H24以降入学者対象: 総合薬学演習
有機化学演習Ⅱ	竹内			1	後・集中	6	
総合薬学演習 B	竹内			2	後・集中	6	
専門科目卒業要件単位		4	9	8	2	2	6

Ⅲ 専門科目（卒業要件外科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員	1	通年	1	
SGD入門	檜垣, 名倉, 杉本	1	前期後半	1	
基礎遺伝学	表, 根岸	2	前期	1	H24以降入学者対象:基礎生物学Ⅱ
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員	1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 西岡	1	後期前半	2	
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	
薬剤師倫理学	名倉	1	前期前半	3	
薬学応用実習	各教員	2	後期	3	H24以降入学者対象:卒業論文基礎実習
分子細胞生物学	森山, 宮地(孝), 日浅, 樹下	2	後期	3	H24以降入学者対象:生物化学Ⅳ
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉	1	前・集中	3～6	
卒業研究準備実習	各教員	4	通年	4	

【創薬科学科 平成24年度以降入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。

第3年次への進級

2年次末までに、教養教育科目 28 単位以上、専門基礎科目 12 単位、専門科目 選択必修 13 単位以上、計 53 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級

3年次末までに、教養教育科目所定の 32 単位以上、専門基礎科目 12 単位、専門科目 必修 9 単位、選択必修 53 単位以上、計 106 単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、4年次進級要件を満たす見込みのない者については、退学を勧告する。

〈平成24年度以降入学者の年次別修得単位基準〉

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す創薬科学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す創薬科学科第4年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分			単位数	
教養教育科目			32	
専門教育科目	専門基礎科目		12	106
	専門科目	必修	21	
		選択必修	71以上	
		選択		
卒業要件単位			138	

【創薬科学科 平成23年度以前入学者】

1. 進級要件

創薬科学科では、2年次から3年次及び3年次から4年次への進級について進級単位を定めている。進級単位を満たしていないと「留年」となるので、注意すること。ただし、履修要件を定めていない科目については、留年しなかった場合の該当年次の開講科目を履修することができる。

第3年次への進級（基礎薬学系実習Ⅰ～Ⅲ，衛生薬学系実習，医療薬学系実習Ⅰ～Ⅲ 履修要件）

2年次末までに、教養教育科目 26 単位以上，専門基礎科目 8 単位以上，専門科目 30 単位（選択科目Ⅰ 30 単位）以上，計 64 単位以上を修得した者とする。

第4年次への進級（卒業論文実習・応用薬学研究演習 履修要件）

3年次末までに、教養教育科目所定の 30 単位以上，専門基礎科目 10 単位以上，専門科目 64 単位（必修科目 9 単位，選択科目Ⅰ 50 単位，選択科目Ⅱ 5 単位）以上，計 104 単位以上を修得した者とする。

2. 修学指導並びに退学勧告について

病気その他やむを得ない事情が無いにもかかわらず、入学後、各年次終了時の全修得単位数が、下表に示す基準に満たない者については、学力・学修態度の改善の為、指導教員による修学指導を行う。

上記指導にもかかわらず、入学後5年経過（休学期間を除く）しても、卒業論文実習の履修資格を得られる見込みのない者については、退学を勧告する。

（平成23年度以前入学者の年次別修得単位基準）

年次	修得単位
1年次	30単位以上
2年次	上記1に示す創薬科学科第3年次進級要件単位数
3年次	上記1に示す創薬科学科第4年次進級要件単位数

3. 卒業要件

科目区分		単位数		
教養教育科目		30		
専門教育科目	専門基礎科目	10	108	
	専門科目	必修		21
		選択Ⅰ		58
		選択Ⅱ		19
卒業要件単位		138		

4. 卒業認定に必要な教養教育科目単位数

(平成26年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	8		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会					
	健やかに生きる					
	自然と技術					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			30	
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 するスポーツ演習				4単位まで
		みるスポーツ演習				
		支えるスポーツ演習				
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		授業科目群から 一種類を選択 留学生用 10単位まで	
		総合英語2	1			
		総合英語3	1			
		総合英語4	1			
		総合英語5		4		
		プレ上級英語				
		上級英語				
		英語特別演習1				
		英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級				4
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
	ロシア語	ロシア語初級				
		ロシア語中級				
	スペイン語	スペイン語初級				
スペイン語中級						
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(書くA, 読むA, 聞くA, 話すA, 書くB, 読むB, 聞くB, 話すB)					
計					32	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成25年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位		
		必修	選択必修				
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2		
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちからそれぞれ1授業科目2単位以上を履修			
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目					
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目					
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目					
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2			
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 するスポーツ演習			4単位まで		
		みるスポーツ演習					
		支えるスポーツ演習					
情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい			
外 国 語 科 目	英語	総合英語1	1		30		
		総合英語2	1				
		総合英語3	1				
		総合英語4	1				
		総合英語5		4			
		ブレ上級英語					
		上級英語					
		英語特別演習1					
	英語特別演習2						
	ドイツ語	ドイツ語初級				4	授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級					
	フランス語	フランス語初級					
		フランス語中級					
	中国語	中国語初級					
		中国語中級					
	韓国語	韓国語初級					
		韓国語中級					
	ロシア語	ロシア語初級					
		ロシア語中級					
	スペイン語	スペイン語初級					
スペイン語中級							
イタリア語	イタリア語初級						
	イタリア語中級						
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで			
計					32		

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成24年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位																					
		必修	選択必修																							
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2																					
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから、それぞれ1授業科目2単位以上を履修																						
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目																								
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目																								
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目																								
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目																								
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2																						
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで																						
	情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)		2単位履修することが望ましい																						
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4		30																					
		英語(ネイティブ)	2																							
		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択																				
		ブレ上級英語																								
		上級英語																								
		英語特別演習1 英語特別演習2																								
	ドイツ語	ドイツ語初級																								
		ドイツ語中級																								
	フランス語	フランス語初級					4		授業科目群から一種類を選択																	
		フランス語中級																								
	中国語	中国語初級																								
		中国語中級																								
	韓国語	韓国語初級																								
		韓国語中級																								
	ロシア語	ロシア語初級																								
		ロシア語中級																								
	スペイン語	スペイン語初級																								
		スペイン語中級																								
	イタリア語	イタリア語初級																								
イタリア語中級																										
日本語	日本語(A, B, C, D)																								留学生用 10単位まで	
計					32																					

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成23年度入学用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題	「現代の課題」グループ科目		開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目				
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目				
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目				
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)			2単位まで	
	情報科学	情報処理入門(情報機器の操作を含む)			2単位履修することが望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4		28	
		英語(ネイティブ)	2			
	英語	英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)		2		英語(オラコン), 英語(作文・文法), 英語(読解), 英語(検定)のうちから選択
		上級英語				
		英語特別演習1 英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級				授業科目群から一種類を選択
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
	ロシア語	ロシア語初級				
ロシア語中級						
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成20年度～平成22年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位	
		必修	選択必修			
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2	
主 題 科 目	現代の課題		6	開講授業科目及びその単位については、岡山大学教育開発センター長が学年の始めに公示する 4つの主題グループのうちから3つ以上を選択し、それぞれ1授業科目2単位以上を履修		
	人間と社会					
	健やかに生きる					
	自然と技術					
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目				
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2		
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習(A,B,C,D,E,F)		2単位まで		
	情報科学	情報処理入門		2単位履修することが望ましい		
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	2	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28
		英語(ネイティブ)	2			
		上級英語				
		英語特別演習1 英語特別演習2				
	ドイツ語	ドイツ語初級	4		授業科目群から 一種類を選択	
		ドイツ語中級				
	フランス語	フランス語初級				
		フランス語中級				
	中国語	中国語初級				
		中国語中級				
	韓国語	韓国語初級				
		韓国語中級				
	ロシア語	ロシア語初級				
		ロシア語中級				
スペイン語	スペイン語初級					
	スペイン語中級					
イタリア語	イタリア語初級					
	イタリア語中級					
日本語	日本語(A, B, C, D)			留学生用 10単位まで		
計					30	

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

(平成19年度入学者用)

科目区分	授業科目群	単 位		備 考	卒業要件 単 位
		必修	選択必修		
ガイダンス科目	薬学ガイダンス	2			2
主 題 科 目	学問の世界	「学問の世界」グループ科目		開講授業科目及び その単位について は、岡山大学教育 開発センター長が 学年の始めに公示 する 4つの主題グルー プのうちから3つ以 上を選択し、それぞ れ1授業科目2単位 以上を履修	
	人間と社会	「人間と社会」グループ科目			
	健やかに生きる	「健やかに生きる」グループ科目			
	自然と技術	「自然と技術」グループ科目			
個 別 科 目	人文・社会科学	人文・社会科学系科目			
	自然科学	自然科学系科目		※注1 ※注2	
	生命・保健科学	健康・スポーツ科学 スポーツ実習 (A,B,C,D,E,F)		2単位まで	
	情報科学	情報処理入門		2単位履修すること が望ましい	
外 国 語 科 目	英語	英語(薬学部1), 英語(薬学部2)	4	英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)のうち から選択	28
		英語(ネイティブ)	2		
		英語(オラコン), 英語(読解), 英語(検定)	2		
		上級英語			
		英語特別演習1 英語特別演習2			
	ドイツ語	ドイツ語初級	4	授業科目群から 一種類を選択	
		ドイツ語中級			
	フランス語	フランス語初級			
		フランス語中級			
	中国語	中国語初級			
中国語中級					
韓国語	韓国語初級				
	韓国語中級				
ロシア語	ロシア語初級				
	ロシア語中級				
スペイン語	スペイン語初級				
	スペイン語中級				
イタリア語	イタリア語初級				
	イタリア語中級				
日本語	日本語 (A, B, C, D)		留学生用 10単位まで		
計					30

※注1 化学,物理学,生物学の各実験の中から1単位以上履修することが望ましい

※注2 高校で物理の未修者は,未履修者用の物理関連科目を履修することが望ましい

5. 専門教育科目【創薬科学科H25年度以降入学者対象科目】

I 専門基礎科目

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択必修	選択			
物理化学Ⅰ	山下	2			前期	1	H23以前入学者対象：物理化学
有機化学Ⅰ	竹内	2			前期	1	
生物化学Ⅰ	森山，表	2			後期	1	
生物化学Ⅱ	岡本，高橋	2			後期	1	
有機化学Ⅱ	宮地（弘），松野	2			後期	1	
物理化学Ⅱ	井上	2			後期	1	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅰ
専門基礎科目卒業要件単位		12					

II 専門科目

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択必修	選択			
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員			1	通年	1	
基礎生物学Ⅰ	表，森山		2		前期前半	1	
基礎生物学Ⅱ	表，根岸		2		前期後半	1	H23以前入学者対象：基礎遺伝学
生薬学Ⅰ	波多野，谷口		2		後期	1	
分析科学Ⅰ	御船		2		前期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅰ
分析科学Ⅱ	榎本，御船，山下，神野		2		後期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅱ
コミュニケーション入門	竹内，高橋			1	前期	1	
植物資源学	波多野，谷口		2		前期	1	H23以前入学者対象：薬用植物学
無機化学	榎本		1		後期前半	1	H23以前入学者対象：無機薬化学
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員			1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田，竹内，西岡			1	後期前半	2	
生理学	高山，杉本		2		前期	2	
生物化学Ⅲ	表		2		前期	2	
分子細胞生物学Ⅰ	黒田		2		前期	2	H23以前入学者対象：生物化学Ⅳ
分子細胞生物学Ⅱ	根岸，有元		2		後期	2	
有機化学Ⅲ	竹内，宮地（弘）		2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野，谷口		2		前期	2	
機能性天然素材学	波多野，谷口		2		後期	2	
薬理学Ⅰ	上原		2		後期	2	H23以前入学者対象：薬効解析学Ⅰ
衛生薬学Ⅰ	成松		2		後期	2	
生物薬剤学	檜垣		2		後期	2	
薬剤学	大河原		2		前期	2	
医薬品構造解析学	竹内，神野		2		前期	2	
物理化学Ⅲ	上田		2		前期	2	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅱ
物理化学Ⅳ	井上		2		後期	2	H23以前入学者対象：生物物理化学
微生物学	黒田		2		後期	2	
生物化学Ⅳ	森山，宮地（孝），日浅，樹下		2		後期	2	H23以前入学者対象：分子細胞生物学
有機化学Ⅳ	澤田，加来田		2		後期	2	H23以前入学者対象：有機反応化学
放射医薬品学	上田		2		前期	2	H23以前入学者対象：放射薬品学・放射線概論
製剤学	大河原		2		後期	2	
人体解剖学	大塚（愛），西田，百田，小阪，田口			2	前期	2	

授 業 科 目	教 員	単 位			期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択 必 修	選 択			
薬学基本実習	黒田, 谷口, 高橋, 田中さ, 西岡, 古田, 安井	0.5			後・集中	2	H24以前入学者対象: 衛生薬学系実習 ※衛生薬学実習と併せて修得した場合に限る。
薬学基礎実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1			後・集中	2	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅰ
薬学基礎実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地(弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡、脇	2			後・集中	2	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅱ
薬学基礎実習Ⅲ		2				3	H24以前入学者対象: 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰを統合 H27年度以降開講予定
衛生薬学実習		1.5				3	H24以前入学者対象: 衛生薬学系実習 ※薬学基本実習と併せて修得した場合に限る。 H27年度以降開講予定
医療薬学実習		2				3	H24以前入学者対象: 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲを統合 H27年度以降開講予定
分子細胞生物学Ⅲ	杉本, 古田		2		前期	3	H23以前入学者対象: ゲノム創薬学
生物統計学	有元, 黒田		2		前期	3	H26年度未開講
有機化学Ⅴ	竹内, 佐々木		2		前期	3	H23以前入学者対象: 複素環化学
漢方薬学概論	波多野, 谷口		2		前期	3	H23以前入学者対象: 漢方処方学
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉			1	前・集中	3・4	
薬理学Ⅱ	上原		2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅱ
薬理学Ⅲ	(未定)		2		後期	3	H23以前入学者対象: 薬効解析学Ⅲ
薬理学Ⅳ	上原		2		後期	3	H23以前入学者対象: 生物化学Ⅴ
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松		2		前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好			2	後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
癌の生物学	有元, 根岸			2	後期	3	
分析科学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣(佑)		2		前期	3	H23以前入学者対象: 薬品分析学Ⅲ
化学療法学	黒田, 有元		2		前期	3	H23以前入学者対象: 感染症治療学と 抗癌薬物治療学を統合
免疫学Ⅰ	田中		2		前期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅰ
免疫学Ⅱ	田中		2		後期	3	H23以前入学者対象: 生体防御機能学Ⅱ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野		2		前期	3	
医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。)	宮地(弘), 山下		2		後期	3	H23以前入学者対象: 医薬化学Ⅱ
有機合成反応論	澤田		2		後期	3	
医薬品情報学	金, 北村			2	前期	3	
薬物治療学Ⅰ	狩野(コーディネーター)			2	後期	3	
薬物治療学Ⅱ	狩野(コーディネーター)			2	後期	3	
医薬品開発学	合葉		1		前期前半	3	
卒業論文基礎実習	各教員			2	後期	3	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂, 北村, 河崎, 錦織, 猪田, 晴田, 藤原, 鍛冶園, 西宮, 平			2	前期	4	
薬事法規・薬事行政	合葉, 杉本			2	前期	4	H23以前入学者対象: 薬事行政と薬事法規が統合 H26年度未開講
卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	各教員	1.2			通年	4	H23以前入学者対象: 応用薬学研究演習と統合
専門科目卒業要件単位		2.1	71以上	7.3			

Ⅲ 専門科目（自由科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	

専門教育科目【創薬科学科H24年度入学者対象科目】

I 専門基礎科目

授業科目	教員	単位			備考
		必修	期別	配当年次	
物理化学Ⅰ	山下	2	前期	1	H23以前入学者対象：物理化学
有機化学Ⅰ	竹内	2	前期	1	
生物化学Ⅰ	森山，表	2	後期	1	
生物化学Ⅱ	岡本，高橋	2	後期	1	
有機化学Ⅱ	宮地（弘），松野	2	後期	1	
物理化学Ⅱ	井上	2	後期	1	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅰ
専門基礎科目卒業要件単位		12			

II 専門科目

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択必修	選択			
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員			1	通年	1	
基礎生物学Ⅰ	表，森山		2		前期前半	1	
基礎生物学Ⅱ	表，根岸		2		前期後半	1	H23以前入学者対象：基礎遺伝学
生薬学Ⅰ	波多野，谷口		2		後期	1	
分析科学Ⅰ	御船		2		前期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅰ
分析科学Ⅱ	榎本，御船，山下，神野		2		後期	1	H23以前入学者対象：薬品分析学Ⅱ
コミュニケーション入門	竹内，高橋			1	前期	1	
植物資源学	波多野，谷口		2		前期	1	H23以前入学者対象：薬用植物学
無機化学	榎本		1		後期前半	1	H23以前入学者対象：無機薬化学
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員			1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田，竹内，西岡			1	後期前半	2	
生理学	高山，杉本		2		前期	2	
生物化学Ⅲ	表		2		前期	2	
分子細胞生物学Ⅰ	黒田		2		前期	2	H23以前入学者対象：生物化学Ⅳ
分子細胞生物学Ⅱ	根岸，有元		2		後期	2	
生物統計学	有元，黒田		2		前期	2	H26年度未開講
有機化学Ⅲ	竹内，宮地（弘）		2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野，谷口		2		前期	2	
機能性天然素材学	波多野，谷口		2		後期	2	
薬理学Ⅰ	上原		2		後期	2	H23以前入学者対象：薬効解析学Ⅰ
衛生薬学Ⅰ	成松		2		後期	2	
生物薬剤学	檜垣		2		後期	2	
薬剤学	大河原		2		前期	2	
医薬品構造解析学	竹内，神野		2		前期	2	
物理化学Ⅲ	上田		2		前期	2	H23以前入学者対象：薬品物理化学Ⅱ
物理化学Ⅳ	井上		2		後期	2	H23以前入学者対象：生物物理化学
微生物学	黒田		2		後期	2	
生物化学Ⅳ	森山，宮地（孝），日浅，樹下		2		後期	2	H23以前入学者対象：分子細胞生物学
有機化学Ⅳ	澤田，加来田		2		後期	2	H23以前入学者対象：有機反応化学
放射医薬品学	上田		2		前期	2	H23以前入学者対象：放射薬品学・放射線概論
製剤学	大河原		2		後期	2	
人体解剖学	大塚（愛），西田，百田，小阪，田口			2	前期	2	

授 業 科 目	教 員	単 位			期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択 必 修	選 択			
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1			後・集中	2	H25以降入学対象: 薬学基礎実習Ⅰ
基礎薬学系実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地(弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡, 脇	2			後・集中	2	H25以降入学対象: 薬学基礎実習Ⅱ
基礎薬学系実習Ⅲ	表, 宮地(孝)	1			後・集中	3	H25以降入学対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
分子細胞生物学Ⅲ	杉本, 古田		2		前期	3	H23以前入学対象: グノム創薬学
有機化学Ⅴ	竹内, 佐々木		2		前期	3	H23以前入学対象: 複素環化学
漢方薬学概論	波多野, 谷口		2		前期	3	H23以前入学対象: 漢方処方学
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉			1	前・集中	3・4	
薬理学Ⅱ	上原		2		前期	3	H23以前入学対象: 薬効解析学Ⅱ
薬理学Ⅲ	(未定)		2		後期	3	H23以前入学対象: 薬効解析学Ⅲ
薬理学Ⅳ	上原		2		後期	3	H23以前入学対象: 生物化学Ⅴ
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松		2		前期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好			2	後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
癌の生物学	有元, 根岸			2	後期	3	
分析科学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣(佑)		2		前期	3	H23以前入学対象: 薬品分析学Ⅲ
化学療法学	黒田, 有元		2		前期	3	H23以前入学対象: 感染症治療学と 癌薬物治療学を統合
免疫学Ⅰ	田中		2		前期	3	H23以前入学対象: 生体防御機能学Ⅰ
免疫学Ⅱ	田中		2		後期	3	H23以前入学対象: 生体防御機能学Ⅱ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野		2		前期	3	
医薬化学Ⅱ(構造生物学を含む。)	宮地(弘), 山下		2		後期	3	H23以前入学対象: 医薬化学Ⅱ
有機合成反応論	澤田		2		後期	3	
医薬品情報学	金, 北村			2	前期	3	
衛生薬学系実習	成松, 高橋, 根岸, 有元, 黒田	2			前・集中	3	H25以降入学対象: 薬学基本実習 および衛生薬学実習
医療薬学系実習Ⅰ	田中, 古田	1			前・集中	3	H25以降入学対象: 薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1			前・集中	3	H25以降入学対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
医療薬学系実習Ⅲ	大河原, 檜垣, 高山, 黒崎, 金	1			前・集中	3	H25以降入学対象: 医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
薬物治療学Ⅰ	狩野(コーディネーター)			2	後期	3	
薬物治療学Ⅱ	狩野(コーディネーター)			2	後期	3	
医薬品開発学	合葉		1		前期前半	3	
卒業論文基礎実習	各教員			2	後期	3	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂, 北村, 河崎, 錦織, 猪田, 晴田, 藤原, 鍛冶園, 西宮, 平			2	前期	4	
薬事法規・薬事行政	合葉, 杉本			2	前期	4	H23以前入学対象: 薬事行政と薬事法規が統合 H26年度未開講
卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	各教員	1 2			通年	4	H23以前入学対象: 応用薬学研究演習と統合
専門科目卒業要件単位		2 1	71以上				
			7 3				

Ⅲ 専門科目（自由科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	

専門教育科目【創薬科学科H23年度以前入学者対象科目】

I 専門基礎科目

授業科目	教員	単位		期別	配当年次	備考
		必修	選択			
物理化学	山下		2	前期	1	H24以降入学者対象：物理化学Ⅰ
有機化学Ⅰ	竹内		2	前期	1	
生物化学Ⅰ	森山，表		2	後期	1	
生理学	高山，杉本		2	前期	1	
生物化学Ⅱ	岡本，高橋		2	後期	1	
生物化学Ⅲ	表		2	前期	2	
生物統計学	有元，黒田		2	前期	2	H26年度未開講
専門基礎科目卒業要件単位			10			

II 専門科目

授業科目	教員	単位			期別	配当年次	備考
		必修	選択Ⅰ	選択Ⅱ			
無機薬化学	榎本		1		後期前半	1	H24以降入学者対象：無機化学
薬用植物学	波多野，谷口		2		前期	1	H24以降入学者対象：植物資源学
薬品物理化学Ⅰ	井上		2		後期	1	H24以降入学者対象：物理化学Ⅱ
有機化学Ⅱ	宮地（弘），松野		2		後期	1	
生薬学Ⅰ	波多野，谷口		2		後期	1	
微生物学	黒田		2		後期	1	
薬品物理化学Ⅱ	上田		2		前期	2	H24以降入学者対象：物理化学Ⅲ
薬品分析学Ⅰ	御船		2		前期	2	H24以降入学者対象：分析科学Ⅰ
有機化学Ⅲ	竹内，宮地（弘）		2		前期	2	
生薬学Ⅱ	波多野，谷口		2		前期	2	
生物化学Ⅳ	黒田		2		前期	2	H24以降入学者対象：分子細胞生物学Ⅰ
薬剤学	大河原		2		前期	2	
薬効解析学Ⅰ	上原		2		後期	2	H24以降入学者対象：薬理学Ⅰ
感染症治療学	黒田，有元		2		前期	2	H24以降入学者対象：化学療法学
人体解剖学	大塚（愛），西田，百田，小阪，田口			2	前期	2	
放射薬品学・放射線概論	上田		2		前期	2	H24以降入学者対象：放射医薬品学
生物物理化学	井上		2		後期	2	H24以降入学者対象：物理化学Ⅳ
薬品分析学Ⅱ	榎本，御船，山下，神野		2		後期	2	H24以降入学者対象：分析科学Ⅱ
生物化学Ⅴ	上原		2		後期	2	H24入学者対象：薬理学Ⅳ
生体防御機能学Ⅰ	田中		2		前期	2	H24以降入学者対象：免疫学Ⅰ
医薬品構造解析学	竹内，神野		1		前期	2	
製剤学	大河原		2		後期	2	
薬効解析学Ⅱ	上原		2		前期	2	H24以降入学者対象：薬理学Ⅱ
衛生薬学Ⅰ	成松		2		後期	2	
有機反応化学	澤田，加来田		1		後期	2	H24以降入学者対象：有機化学Ⅳ
漢方処方学	波多野，谷口			1	前期	2	H24以降入学者対象：漢方薬学概論
癌の生物学	有元，根岸			2	後期	2	

授 業 科 目	教 員	単 位			期 別	配 当 年 次	備 考
		必 修	選 択 I	選 択 II			
生体防御機能学Ⅱ	田中		1		前期	3	H24以降入学者対象：免疫学Ⅱ
生物薬剤学	檜垣		2		前期	3	
薬事法規	合葉, 杉本		1		後期	3	H24以降入学者対象：薬事法規・薬事行政が統合 H26年度未開講
薬事行政	杉本			1	後期	3	H24以降入学者対象：薬事法規・薬事行政が統合 H26年度未開講
薬効解析学Ⅲ	(未定)		2		後期	3	H24以降入学者対象：薬理学Ⅲ
医薬化学Ⅰ	加来田, 松野		2		前期	3	
衛生薬学Ⅱ	三好		2		前期	3	
衛生薬学Ⅲ	成松			2	前期	3	
医薬品開発学	合葉		1		前期前半	3	
薬品分析学Ⅲ	榎本, 御船, 上田, 神野, 檜垣(佑)			2	前期	3	H24以降入学者対象：分析科学Ⅲ
複素環化学	竹内, 佐々木		2		前期	3	H24以降入学者対象：有機化学Ⅴ
機能性天然素材学	波多野, 谷口		2		後期	3	
衛生薬学Ⅳ	三好			2	後期	3	
ゲノム創薬学	黒田		1		前期	3	H24以降入学者対象：分子細胞生物学Ⅲ
医薬化学Ⅱ	宮地(弘), 山下		2		後期	3	
有機合成反応論	澤田		2		後期	3	
バイオ技術演習	有元		1		後期	3	
毒性学	成松			1	後期	3	
基礎薬学系実習Ⅰ	榎本, 御船, 上田, 井上, 山下, 安井	1			前・集中	3	H25以降入学者対象：薬学基礎実習Ⅰ
基礎薬学系実習Ⅱ	竹内, 波多野, 宮地(弘), 澤田, 加来田, 松野, 谷口, 西岡, 脇	2			前・集中	3	H25以降入学者対象：薬学基礎実習Ⅱ
基礎薬学系実習Ⅲ	表, 宮地(孝)	1			前・集中	3	H25以降入学者対象：薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅰ	田中, 古田	1			前・集中	3	H25以降入学者対象：薬学基礎実習Ⅲ 基礎薬学系実習Ⅲと医療薬学系実習Ⅰが統合
医療薬学系実習Ⅱ	杉本	1			後・集中	3	H25以降入学者対象：医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
衛生薬学系実習	成松, 高橋, 根岸, 有元, 黒田	2			前・集中	3	H25以降入学者対象：薬学基本実習および衛生薬学実習
医療薬学系実習Ⅲ	大河原, 檜垣, 高山, 黒崎, 金	1			後・集中	3	H25以降入学者対象：医療薬学実習 医療薬学系実習Ⅱと医療薬学系実習Ⅲが統合
薬物治療学Ⅰ	狩野(コーディネーター)			2	前期	4	
医薬品情報学	金, 北村			2	前期	4	
臨床医薬品治療学Ⅰ	千堂, 北村, 河崎, 錦織, 猪田, 晴田, 藤原, 鍛冶園, 西宮, 平			2	前期	4	
細胞療法・診断学	高山, 田中			2	前期	4	
薬物治療学Ⅱ	狩野(コーディネーター)			2	前期	4	
応用薬学研究演習	各教員	2			通年	4	
卒業論文実習(卒業制作物を含む。)	各教員	10			通年	4	H24以降入学者対象：応用薬学研究演習と統合
専門科目卒業要件単位		21	58	19			

Ⅲ 専門科目（卒業要件外科目）

授 業 科 目	教 員	単 位	期 別	配 当 年 次	備 考
薬学セミナーⅠ	表 他薬学部全教員	1	通年	1	
コミュニケーション入門	竹内, 高橋	1	前期	1	旧科目名: コミュニケーション入門Ⅰ・ コミュニケーション入門Ⅱ
基礎遺伝学	表, 根岸	2	前期	1	H24以降入学対象: 基礎生物学Ⅱ
薬学セミナーⅡ	表 他薬学部全教員	1	通年	2	
ケミカル・バイオハザード学	黒田, 竹内, 西岡	1	後期前半	2	
薬学研究のフロンティア	薬学部全教員	2	前期	3	
分子細胞生物学	森山, 宮地(孝), 日浅, 樹下	2	後期	3	H24以降入学対象: 生物化学Ⅳ
薬物投与設計序論	黒崎	1	後期前半	3	
病気を知る	狩野	2	前期	2	
卒業論文基礎実習	各教員	2	後期	3	
漢方処方応用学	波多野, 谷口, 緋田, 名倉	1	前・集中	3・4	

6. 創薬科学科卒業者の薬剤師国家試験受験資格修得方法に関する内規

平成 24 年度以降 29 年度以前学部入学者

1. 本学において、創薬科学科(4年制)卒業者が国家試験受験資格を得るために、科目等履修生医療薬学専修コース、及び博士後期課程医療薬学特別聴講コース(博士後期課程在籍者用)を設置する。本学薬学部創薬科学科(4年制)卒業者が、上記いずれかのコースに在籍し、国家試験受験資格を得るためには、以下の条件を全て満たす必要がある。
 - (1) 本学薬学部創薬科学科(4年制)を卒業すること(他大学卒業者は不可)。
 - (2) 本学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻を修了(但し、早期修了は除く)し、修士の学位を取得すること。ただし本学薬学部創薬科学科を卒業した者で、他大学薬学研究科修士課程を修了(ただし、早期修了は除く)した場合についても可とする。
 - (3) 本学大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程に進学した場合は博士後期課程医療薬学特別聴講コースに、また、それ以外の場合は科目等履修生医療薬学専修コースに在籍中に、実務実習事前教育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、病院実務実習、薬局実務実習の単位を修得すること。
 - (4) 本学薬学部創薬科学科に入学した年度と同年度の薬学科(6年制)の卒業要件を満たす単位を修得すること。
2. 卒業した4年制課程の属する大学への入学の日から12年を経過する日までの期間内に、6年制課程を卒業するために必要な単位を修得すること。

(平成17年12月26日付け薬食発第1226003号厚生労働省医薬食品局長通知)
3. 博士後期課程医療薬学特別聴講コースに進んだ者は、原則として博士後期課程修了に4年以上を要するものとする。
4. 受講料等について
 - (1) 科目等履修生医療薬学専修コース：科目等履修生の制度に従う。検定料、入学料、授業料、OSCE、CBT受験料、実務実習費(教員派遣に関する費用を含む)、及びその他の諸費用は全額自己負担とする。
 - (2) 博士後期課程医療薬学特別聴講コース：博士後期課程の授業料(4年間)の他に、OSCE、CBT受験料、実務実習費(教員派遣に関する費用を含む)、及びその他の諸費用は全額自己負担とする。
5. 本学薬学部創薬科学科4年次在籍中に履修できる薬学科開講科目(ただし創薬科学科にも開講されているものは除く)は、1 Semester 2科目である。
6. 本学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻在籍中に履修できる学部開講科目は、4科目8単位である。
7. 科目等履修生医療薬学専修コース、あるいは博士後期課程医療薬学特別聴講コースの履修を希望する場合は、コースの履修申請書を予め提出しなければならない。
8. 実務実習先の確保の状況によっては、OSCE、CBT合格後も、直ちに実務実習に入れない場合も有り得る。

科目等履修生医療薬学専修コースおよび博士後期課程特別聴講コース
(4 + 2 + 2 システム) の概要 (平成24年度以降学部入学者)

年次	規定		モデルケース	備考	薬学科との対応
	科目数, 単位数				
3年次まで			薬学科必修科目のうち, 58科目108単位を修得	ここまです薬学科必修科目のうち, 58科目108単位を修得可能(ただし早期体験学習については履修学年の制限あり)	
4年次	創薬科学科非開講科目は原則として履修できない。		卒業論文実習:12単位 実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲを除く4年次薬学科のみ開講の必修科目:2科目 創薬科学科学生が選択科目として履修できる科目:2科目を履修	実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲを除く4年次薬学科のみの開講科目(5科目9単位)のうち, 1 Semester 2科目履修可能	
M1	前期	4科目8単位 (博士前期課程の2年間で修得できる最高の単位数)	実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲを除く4年次薬学科のみ開講の必修科目:3科目	4科目8単位まで履修可能, ただし後期開講科目はM1後期までに修得すること	薬学科 4年次配当科目
	後期				
M2	前期		修論準備等のため, 履修は推奨しない。	ここまです薬学科必修科目のうち, 実務実習事前教育Ⅰ～Ⅲを除く66科目133単位を修得可能	
	後期				
専修1年次	博士後期課程1年次	前期	実務実習事前教育Ⅰ2単位 実務実習事前教育Ⅱ2単位	実務実習事前教育Ⅰ, Ⅱ	ここまです, 実務実習および事前教育Ⅲを除く薬学科必修科目全ての単位(68科目137単位)及び選択科目(4単位)修得。
	後期	実務実習事前教育Ⅲ4単位	実務実習事前教育Ⅲ	OSCE, CBT受験	薬学科 4年次後期開講
専修2年次	博士後期課程2年次	病院実務実習 10単位 薬局実務実習 10単位	病院実務実習 薬局実務実習	国家試験受験資格の申請(実務実習の実施時期により次年度となる場合あり)	薬学科 5年次 実務実習 6年次 国家試験
	博士後期課程3・4年次	課題研究等を履修		博士後期課程修了	

なお, 科目等履修生医療薬学専修専修コース, あるいは博士後期課程特別聴講コースにおいては, 1年次に総合薬学演習を, また1, 2年次を通じて, 臨床薬学演習Ⅰ～Ⅳ(薬学科5, 6年次配当)を履修可とするが, 必要要件とはしない。

専修コース, 博士後期課程特別聴講コースの1年次後期には, 実務実習事前教育しか履修できないので, 予め, 注意して履修計画をたてること。

平成 18 年度以降平成 23 年度以前学部入学者

1. 本学において、創薬科学科(4 年制)卒業者が国家試験受験資格を得るために、科目等履修生医療薬学専修コース、及び博士後期課程医療薬学特別聴講コース(博士後期課程在籍者用)を設置する。本学薬学部創薬科学科(4 年制)卒業者が、上記いずれかのコースに在籍し、国家試験受験資格を得るためには、以下の条件を全て満たす必要がある。
 - (1)本学薬学部創薬科学科(4 年制)を卒業し、別途定めた指定科目 39 科目 76 単位(以下、指定科目)のうち、少なくとも 25 科目、49 単位を卒業までに修得していること(他大学卒業者は不可)。
 - (2)本学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻を修了(但し、早期修了は除く)し、修了までに指定科目を総計で少なくとも 29 科目、57 単位を修得していること(博士前期課程で履修できる指定科目の上限は、4 科目 8 単位)。ただし、本学薬学部創薬科学科(4 年制)を卒業した者で、卒業時に指定科目 29 科目、57 単位を修得済みの者については、他大学薬学研究科修士課程を修了(ただし、早期修了は除く)した場合についても可とする。
 - (3)大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程に進学した場合は博士後期課程医療薬学特別聴講コースに、また、それ以外の場合は科目等履修生医療薬学専修コースに在籍し、本学薬学部薬学科(6 年制)の卒業要件を満たす単位(指定科目 39 科目 76 単位を含む)を修得すること。ただし、薬学科(6 年制)の卒業論文実習に相当する 12 単位分は、博士前期課程修了をもって修得したものとみなす。
2. 卒業した 4 年制課程の属する大学への入学の日から 12 年を経過する日までの期間内に、6 年制課程を卒業するために必要な単位を修得すること。

(平成 17 年 12 月 26 日付け薬食発第 1226003 号厚生労働省医薬食品局長通知)
3. 受講料等について
 - (1)科目等履修生医療薬学専修コース：科目等履修生の制度に従う。検定料、入学料、授業料、OSCE、CBT 受験料、および実務実習費(教員派遣に関する費用を含む)、およびその他の諸費用は全額自己負担とする。
 - (2)博士後期課程医療薬学特別聴講コース：博士後期課程の授業料(4 年間)の他に、OSCE、CBT 受験料、および実務実習費(教員派遣に関する費用を含む)、およびその他の諸費用は全額自己負担とする。
4. 創薬科学科 4 年次在籍中に履修できる薬学科開講科目(ただし創薬科学科にも開講されているものは除く)は、1 セメスター 2 科目である。
5. 大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻在籍中に履修できる学部開講科目は、4 科目 8 単位である。
6. 科目等履修生医療薬学専修コース、あるいは博士後期課程医療薬学特別聴講コースの履修を希望する場合は、コースの履修申請書を予め提出しなければならない。
7. 実務実習先の確保の状況によっては、OSCE、CBT 合格後も、直ちに実務実習に入れなない場合も有り得る。
8. 単位修得に関する概要は別表に記す。

科目等履修生医療薬学専修コースおよび博士後期課程特別聴講コース
(4 + 2 + 2 システム) の概要 (平成23年度以前学部入学者)

年次		規 定		推 奨		備 考	薬学科との対応
		科目数, 単位数		科目数, 単位数			
3年次まで		25科目, 49単位 (4年次までの最低条件)		24科目, 47単位		全て選択I, II。 これらの修得は前提としたい。	
4年次		※但し, 本学部卒業後, 他大学大学院へ進学した者は, 29科目, 57単位修得が必須となる。		5科目, 10単位		創薬科学科4年次配当 (選択II) これ以外に要件外として4科目可 (推奨しない)	薬学科 4年次配当科目
M1	前期	4科目8単位 (博士前期課程の2年間で修得できる最高の単位数)		2科目, 4単位			
	後期			1科目, 2単位		診断治療学 (後期開講)	
M2	前期			1科目, 2単位			
	後期			0科目, 0単位		修論準備等のため, 履修は推奨しない。	
専修1年次	博士後期課程 1年次	前期	2 - 10科目 4 - 19単位	6科目, 11単位	ここで, 指定科目全ての単位修得。(39科目, 76単位)		
		後期	実務実習事前教育 1~5 計8単位	実務実習事前教育 1~5 計8単位	OSCE, CBT受験	薬学科4年次 後期開講	
専修2年次	博士後期課程 2年次	病院実務実習 10単位 薬局実務実習 10単位	病院・薬局実務実習 計20単位	国家試験受験資格の申請 (実務実習の実施時期により3年次となる場合あり)	薬学科 5年次 実務実習 6年次 国家試験		
		博士後期課程 3・4年次	課題研究等を履修		博士後期課程修了		

なお, 科目等履修生医療薬学専修コース, あるいは博士後期課程特別聴講コースにおいては, 1年次に, 総合薬学演習 I, II および有機化学演習 (薬学科4年次配当) を, 2年次に, 総合薬学演習 A, B および有機化学演習 II (薬学科6年次配当) を, また1, 2年次を通じて, 臨床薬学演習 I ~ IV (薬学科5, 6年次配当) を履修可とするが, 必要要件とはしない。

科目等履修生医療薬学専修コース, 博士後期課程特別聴講コースの1年次後期には, 実務実習事前教育しか履修できないので, 予め, 注意して履修計画をたてること。

※他大学大学院に進学した場合, 博士前期課程在学中に修得すべき4科目8単位の履修が不可能となるため。

平成23年度以前創薬科学科入学者が国家試験受験資格を取得するための指定科目
「実務実習事前教育1～5」を履修する前提条件となる。

平成23年度以前入学者対象科目					平成24年度以降開講読替科目
授業科目名	専門科目				授業科目名
	選択科目Ⅰ	選択科目Ⅱ	薬学科開講科目	配当年次	
薬品物理化学Ⅰ	2			1	物理化学Ⅱ
有機化学Ⅱ	2			1	有機化学Ⅱ
生薬学Ⅰ	2			1	生薬学Ⅰ
微生物学	2			1	微生物学
薬品分析学Ⅰ	2			2	分析科学Ⅰ
有機化学Ⅲ	2			2	有機化学Ⅲ
生薬学Ⅱ	2			2	生薬学Ⅱ
生物化学Ⅳ	2			2	分子細胞生物学Ⅰ
薬剤学	2			2	薬剤学
薬効解析学Ⅰ	2			2	薬理学Ⅰ
感染症治療学	2			2	化学療法学
人体解剖学		2		2	人体解剖学
薬品分析学Ⅱ	2			2	分析科学Ⅱ
生物化学Ⅴ	2			2	薬理学Ⅳ
生体防御機能学Ⅰ	2			2	免疫学Ⅰ
製剤学	2			2	製剤学
薬効解析学Ⅱ	2			2	薬理学Ⅱ
衛生薬学Ⅰ	2			2	衛生薬学Ⅰ
生物薬剤学	2			3	生物薬剤学
薬事法規	1			3	薬事法規・薬事行政
薬効解析学Ⅲ	2			3	薬理学Ⅲ
衛生薬学Ⅱ	2			3	衛生薬学Ⅱ
衛生薬学Ⅲ		2		3	衛生薬学Ⅲ
衛生薬学Ⅳ		2		3	衛生薬学Ⅳ
薬物治療学Ⅰ		2		4	薬物治療学Ⅰ
医薬品情報学		2		4	医薬品情報学
臨床医薬品治療学Ⅰ		2		4	臨床医薬品治療学Ⅰ
細胞療法・診断学		2		4	
調剤学			2	4	実務実習事前教育Ⅰ
コミュニティファーマシー			1	4	コミュニティファーマシー
薬物動態学			2	4	薬物動態学
臨床病態学Ⅰ			2	4	臨床病態学Ⅰ
薬物治療学Ⅱ		2		4	薬物治療学Ⅱ
病院薬学			2	4	薬物治療学Ⅲ
臨床医薬品治療学Ⅱ			2	4	臨床医薬品治療学Ⅱ
臨床薬学			2	4	実務実習事前教育Ⅱ
診断治療学			2	4	診断治療学
臨床薬物動態学			2	4	臨床薬物動態学
臨床病態学Ⅱ			2	4	臨床病態学Ⅱ
合計	41	16	19		

指定科目(76単位)(39科目)

創薬科学科では開講されていない単位(科目)19単位(10科目)を含む。

注 薬学科開講科目(4年次配当科目)については、4年次に1セメスターに2科目まで履修を認める。

注 平成23年度以前入学者で、平成26年度までに細胞療法・診断学を未修得の場合は、免疫学Ⅱを履修し、合格することで単位を認める。

注 実務実習事前教育1～5の読替科目は、実務実習事前教育Ⅲを履修すること。

5 放送大学との単位互換の実施に関する内規

平成21年 5月27日制定

平成23年 9月28日改正

平成24年12月19日改正

薬学部教授会

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学薬学部規程（平成16年岡大薬規程第1号。以下「学部規程」という。）第12条の規定による放送大学との単位互換の実施に関し必要な事項を定める。

(授業科目の公示)

第2条 学生が履修可能な放送大学の授業科目は、薬学部教務委員会により、前年度の12月に公示する。

(授業科目の履修)

第3条 学生が放送大学の授業科目を履修する場合は、所定の期日までに特別聴講学生出願票を提出しなければならない。

(特別聴講)

第4条 放送大学の特別聴講学生として授業科目の履修を希望する学生の出願(科目登録),履修,単位修得等については、放送大学の定めるところによる。

2 前項の規定により、授業科目の履修を希望する学生は、放送大学に、特別聴講学生の授業料として、1単位につき、所定の額を納入しなければならない。

(単位の認定)

第5条 放送大学の特別聴講学生として修得した単位の認定は、学部規程第12条第3項及び第4項の規定に基づき、別表第1に定める科目区分に応じて、卒業要件単位として認定する。ただし、この場合30単位を超えないものとする。

2 前項の規定により、単位を認定された授業科目の成績評価の表示は、「認定」とする。また、科目名の前に「(放)」を表示し、他の修得科目と区別する。

附 則

この内規は、平成25年4月1日から施行する。

別表第1 単位認定の科目区分等（第5条関係）

平成25年度以降入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	現代の課題 人間と社会 健やかに生きる 自然と技術	主題科目
	個別科目	人文・社会科学	基礎科目 共通科目の一般科目（人文系） 共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目 共通科目の一般科目（自然系）
		生命・保健科学	基礎科目の「運動と健康」
外国語科目	英語 （総合英語1～5を除く）	外国語科目	英語
	英語以外の外国語		英語以外の外国語
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務委員会が履修を認めた自然科学系科目	

平成20年度～平成24年度入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	現代の課題 人間と社会 健やかに生きる 自然と技術	主題科目
	個別科目	人文・社会科学	基礎科目 共通科目の一般科目（人文系） 共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目 共通科目の一般科目（自然系）
		生命・保健科学	基礎科目の「運動と健康」
外国語科目	英語 （英語（薬学部1）、英語 （薬学部2）及び英語（ネ イティブ）を除く。）	外国語科目	英語
	英語以外の外国語		英語以外の外国語
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務委員会が履修を認めた自然科学系科目	

平成18年度～平成19年度入学者適用			
薬学部の科目区分等			放送大学の授業科目等
教養教育科目	主題科目	学問の世界 人間と社会 健やかに生きる 自然と技術	主題科目
	個別科目	人文・社会科学	基礎科目 共通科目の一般科目（人文系） 共通科目の一般科目（社会系）
		自然科学	基礎科目 共通科目の一般科目（自然系）
		生命・保健科学	基礎科目の「運動と健康」
外国語科目	英語 （英語（薬学部1）、英語 （薬学部2）及び英語（ネ イティブ）を除く。）	外国語科目	英語
	英語以外の外国語		英語以外の外国語
専門教育科目	専門基礎科目	薬学部教務委員会が履修を認めた自然科学系科目	